

## 2014 年度 UCRC 研究員プロジェクト活動実績報告書

氏名	石川 優 (いしかわ ゆう)
(プロジェクト・テーマ名) ポピュラー文化の受容過程における意味生成に関する研究：同人誌の書誌形態分析をとおして	
(研究活動実績) <b>■プロジェクトの概要</b> 本プロジェクトは、二次創作同人誌を「書物」として分析することで、現代においてポピュラー文化がどのようにまなざされ、意味づけられているのかを考察するものである。ここでいう二次創作同人誌とは、マンガやアニメなどの先行テキストを部分的に流用して制作された自費出版物を指している。ポピュラー文化のファンによる諸実践の中でも、二次創作同人誌は歴史的、流通量的にも極めて重要な位置を占めている。二次創作同人誌の書物としての側面に着目することで、ポピュラー文化の受容と先行テキストに対する意味づけの過程を検証することができる。この探究をつうじて、ポピュラー文化の受容と意味生成の関係を明らかにすることが本プロジェクトの目的である。今後は、下記の研究活動をつうじて得られた成果を精査し、次年度の『都市文化研究』に論文を投稿する予定である。  <b>■調査活動</b> (1) 同人誌即売会における同人誌の収集、フィールド調査 (2014 年 8 月 15～16 日)。 (2) 米沢嘉博記念図書館での一次資料の調査 (2014 年 11 月 10 日) (3) 国立国会図書館等での一次資料、および研究資料の収集 (2015 年 1 月 30 日～2 月 1 日)。  <b>■研究発表</b> 石川優「マンガ表現における「記号性」と「身体性」」市民講座アイアイ、サクラファミリア、2014 年 8 月 29 日	